

NO MORE 絶望の起床

学部一年 笠原崇裕

1 概要

展示用というよりは普段起きられない自分のために作った目覚まし時計。制御部は Raspberry Pi 3 Model B を用いた。Raspberry Pi、略して RasPi を常に起動しておき、設定した時間にブザーを鳴らす。RasPi を使うのは初めてなので、これが習作となる。制作期間は一週間。

2 特徴

2.1 二電源

電源は、RasPi がなかなか電力を食うのと、電池切れによるアラームのパワー不足を防ぐため、コンセントから給電することとした。ただ、それだと朝アラームが鳴った時すぐコンセントをぶち抜いてそのまま二度寝してしまうので、内部に電池を搭載し、コンセントから給電されないときはそこから給電するようにした。

2.2 ただ押すだけじゃアラームを止められない

朝アラームに起こされて寝ぼけたまますぐアラームを OFF にし、二度寝するという事を起こさないために、一定の時間ちゃんと頭を働かせないとアラームを止められないようにした。

2.3 就寝、起床時ツイート

せっかく RasPi を使うのだから何かしよう、ということで自動ツイートする機能を搭載。（予定）

3 制作経緯

新しい目覚まし時計の必要性を強く感じる出来事→電気ショック目覚まし腕時計の存在を知る→自作しよう→スマホアプリとそれと通信するデバイスを作りたいが、自分の持っているのは iPhone と非 Mac(iPhone アプリは Mac でしか作れない)→windows で iPhone と Android 機両対応のアプリが作れるようだ→Monaca というハイブリッドアプリの開発環境を使う→Monaca はバックグラウンドでの動作に対応してないから目覚ましアプリが作れない→スマホとの通信を諦める→RasPi を使ってみよう